

---

# わたし、メリーさん。

箱眼鏡

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

わたし、メリーさん。

### 【Nコード】

N5437Z

### 【作者名】

箱眼鏡

### 【あらすじ】

『わたし、メリーさん

今、あなたの…』

都市伝説メリーさんの電話をもとに制作したお話です。

楽しんでいただければ光栄です… by箱眼鏡

私の名前は黒原エリ  
両親の都合で引っ越すことになって  
今は引っ越しの準備中だ

「ふう…これでオツケー！ 後は…」

「エリー！業者さん来たわよー！」

「はぁーいー！」

そうして私は 市に引っ越した。

次の日、引っ越し先に着いた  
引っ越し業者の人はもう着いているようだ。

「（当たり前か…）」

何てことを考えながら、新しい家に入った

その家は出来たばかりらしい

「わぁ…」

中はとても綺麗だった。

「お母さん！私の部屋って…」

「二階の部屋よ。」

「見てくる…！」

「はいはい」

お母さんは笑いながらそう言った。

私は早く自分の部屋を見たかったから、早足で二階に上がった

部屋のドアの前につき、ゆっくりとドアを開けた。

「わあ…！すごい…！」

その部屋はとても明るい部屋で広がった

私は部屋に入った

「！あれ…？何だろう…この人形…」

窓枠に綺麗な外国製の人形が置いてあった

「前の人のかな…？」

そう思って、一階に下りてお母さんに聞いてみた

まあお母さんが知るはずもないけど…

「お母さん、二階にこの人形が置いてあったんだけど…」

「人形？前の方のじゃない？エリが必要無いんだつたら捨ててきなさい」

「うん、じゃあ捨ててくるよ。要らないし」

「ゴミ捨て場分かる？」

「さっき通ったところでしょう？分かるよ！行ってきまーす！」

「早く帰ってきなさいね」

「はいはいっ」

私はその人形を捨てた。

あんなことが起こるとも知らずに…

## 次の日

私は学校から帰り、自分の部屋で漫画を読んでいた。

「あははっ…」

笑いながら漫画を読んでいたら

携帯に電話がかかってきた。

「？知らない番号……」

私は電話に出た

そうしたら……

『……………』

「……？あの、何方ですか？」

『わたし、メリーさん。今、ゴミ捨て場にいるの』

ブツッ

電話が切れた……

「メリー……さん……？」

私は不思議に思ったけど、イタズラ電話と思って無視した。

でも、次の日、同じ番号から電話がかかってきた

『わたし、メリーさん。今、電話ボックスの前にいるの』

その次の日も

『わたし、メリーさん。今、自動販売機の前にいるの』  
その電話が切れたとき、私はあることに気が付いた  
これ…

「家に近づいて来てる……!！」

そう、どンドンどンドン私の家に近づいて来ている。

「あ…明日…は…家の…前……?」

いや、そんなことは無い…  
ただのイタズラよ…!

私はそう思った

いや、思っていたかった…

そして、次の日

「来ないわよ…電話なんて…来ない…!」

そう思った瞬間

プルルルルルルル…

「っ！！」

電話が、かかってきた

「っ…！！」

私は恐る恐る、その電話に出た。

『わたし、メリーさん。今

あなたの家の階段にいるの』

「あ…あああ…！！！！」

ブツツ…

その時

ギシツ…

「！！！！」

足音が聞こえた

ギシツ…

ギシッ…

ギシッ…

私の部屋の前で止まった

ガチャ… ギイイ…

私は怖くて目を瞑った

「…どうしたのよ？」

「えっ…」

その足音は、お母さんの足音だった

安心して、メリーさんなんていない…そう思った

次の日…

私は、もう電話なんて来ない

だから、気分が明るかった。

「  
」

家の電話が鳴った

「はいはいっ」

ガチャ

『わたし、メリーさん。』

今、あなたの後ろにいるの。

いつ振り向いてくれるのかしら」

「え………？」

私は耳を疑い、そっと、後ろに振り返った

『 日、16時35分ごろに行方不明事件が発生しました。  
被害者は黒原エリさん、小学6年生で母親の黒原サキさんが帰宅  
した所』

行方不明になっていたそうです………』

…わたし、メリーさん。  
今…あなたの…

(後書き)

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n5437z/>

---

わたし、メリーさん。

2011年12月18日10時50分発行